



# 通信

HP 学校だより  
R6.1.10  
NO.34  
文責 伊藤美佳



## 大谷選手からのプレゼント

令和5年12月25日（月）豊坂小学校にサンタクロースからのプレゼントのように大谷選手からのグローブと教育委員会からボールが届きました。しかし、子どもたちは冬休みのためいません。3学期始業式でのお披露目となりました。

始業式の後、代表委員長がグローブを受け取り、全校の前で初キャッチボールをしてくれました。グローブは、とても軽く、大谷選手のサインが印字されています。大谷選手からのお手紙には、

（略）この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。（略）

と書かれていました。子どもたちにもこのメッセージを伝えました。

「Pay it forward (ペイフォワード)」という言葉があります。自分が受けた恩を、恩や喜びを与えてくれたものに返すのではなく、次のもの、他のものへ与えていくことを意味します。そうすれば、みんなが幸せになるという考え方です。大谷選手は、まさにその精神を体現していると思いました。また、「好きこそものの上手なれ」も体現している方です。子どもたちには、自分の「好き」を見つけるために、何でもまず一度はチャレンジする気持ちをもってほしいと願います。



## 新しい年の始まりにあたり

新しい年が始まると同時に、能登地方では大きな地震がおきました。自然災害はいつ起こるかわからないこと、そのために何ができるのか考えなければならないことを改めて突きつけられた気持ちになりました。そして、今、こうしていただける幸せをしっかりと認識し、自分たちに何ができるか子どもたちとともに考えたいです。